

### 平成24年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業			基本目標	町道の整備		
担当課(局)・係	建設管理課	土木係	記入者	三枝敏郎	評価者	芥田秀則	開始年度
							年度

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を)	町道										
	意図・目的	通学路等の歩道の設置、災害に強い道路の整備、主要道路の大規模修繕等を行い、安全に通行できる道路を整備する。あわせて、橋梁修繕計画に基づき、年次計画に従って、橋梁の修繕を行う。										
事業の内容	年次計画に基づいて、必要であれば用地補償交渉を行い、道路改良工事を発注する。その後、工事監督及び工事完了の確認を行う。											
主な支出項目	23年度決算額	79,356	千円	24年度予算額	75,000	千円	事業従事者数	H23 0.60	人	H24 0.60	人	
	測量設計等委託料	6,033	千円	財源内訳	国庫支出金	41,250	千円	23年度人件費	4,282 千円			
	工事請負費	96	千円		県支出金		千円	24年度人件費	4,286 千円			
	公有財産購入費	5,652	千円		地方債	33,750	千円	24年度予算額における一般財源の割合(H24)	0.0	%		
	補償金	67,575	千円		一般財源		千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください				
		千円				千円						
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名		-						
	補助交付団体			-		補助金要綱		-				
	23年度	補助額	-	千円	補助の形態	-	H24年度補助額	-	千円	終期	-	年度
		団体の決算額	-	千円	H23年度までの見直しの状況・評価委員会での決定事項等							
		補助の割合	-	%								
繰越額		-	千円									

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか	
	1 道路整備(完了)	道路整備を行うことで、安全で快適な道路を整備できた。	
	2		
	3		
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に	
	1 道路整備(行程)	工期限内に完成するため、計画・用地補償交渉・工事発注・工事監督を実施した。	
	2		
	3		

◎達成状況

	指標名	単位	22年度	23年度	24年度
			目標値	2	2
成果指標	道路整備(完了)	実績値	2	2	
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			
活動指標	道路整備(行程)	実績値	2	2	3
		達成率	100.0%	100.0%	
		目標値			
		実績値			
		達成率			
		目標値			

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業	担当課(局)	建設管理課
-------	---------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	担当者記入欄	評価する項目	点数
			自己評価
（必 要 性）	公共施設であるため、町で整備するべきである。	◎目的からして町が行うべきか	2
		◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2
		◎社会情勢(住民ニーズ)に適応しているか	2
		◎事業廃止による影響があるのか	2
有 効 性	道路整備により、安全と快適な道路環境を整備	◎目標に対して成果は得られているか	2
		◎すでに目的は達成されていないか	1
効 率 性	この事業で、大規模修繕を行えるようになったため、補助事業で行うことにより、一般財源の持ち出しを削減できた。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2
		◎費用対効果が十分に認められるか	2
協 働 性	用地の提供等、地権者の協力が必要である。	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	1
合計(最高18点)			16

※町補助をしている場合のみ記入

（公 平 性）	◎公益性が高いか ※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること	
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか	
	◎町民の理解が得られる事業であるか	
合計(最高4点)		0
そ の 他		

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総 合 評 価	◎担当者の方針に対する評価者としての所見  ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	社会資本整備総合交付金事業では、道路改良、大規模修繕、橋梁の修繕等を行うことを目的としている。町内の道路、橋梁も施工から長年経過しており、大規模修繕を行う必要性にせまられている。また、歩行者の安全を考慮して歩道の設置、橋梁の修繕等と多岐にわたるため、計画的に施工していく必要があるため、現状維持若しくはコスト拡充で行いたい。	今後の方向性			
			事業の方向性	拡充	維持	縮小
				○		
			廃止	縮小	維持	拡充
			コスト			

◎事務事業評価委員の意見等

- ・計画的な事業の推進が必要である。
- ・一括交付金化を見越して、道路橋りょう整備の優先順位を定めること。
- ・単独事業から補助事業に切替できる工事は、積極的に拡充すること。

◎今後の方向性

事務事業評価委員会	
判定	維持
外部評価委員会	
判定	